

試験研究成果普及情報

部門	経営	対象	普及、行政、研究
課題名：農産物原価計算を支援する表計算シートの作成			
<p>[要約] 農産物原価計算を支援する表計算シート（愛称：V-Sheets^{ブイ・シート}）を作成した。このシートは、関係費目、試算の前提数値を入力するシートと試算結果のシートで構成され、結果は自動的に表示される。生産・販売条件の変化に対応したシミュレーションも可能である。</p>			
キーワード	原価、収益性、経営評価、表計算シート、シミュレーション		
実施機関名	主 査	農業総合研究センター企画調整部経営調査室	
	協力機関	全農千葉県本部	
実施期間	2004年度～2005年度		

[目的及び背景]

野菜産地等においては、農産物価格低迷や資材価格高騰が収益性に与える影響の解明、実需者との契約価格の設定に対応するために、農産物原価を主体的に把握する必要が高まった。このため、原価計算を支援する表計算シートの作成に取り組んだ。

※「原価」という用語を用いるのは、生産費に加え出荷経費を含めるため。

[成果内容]

- 1 作成した表計算シート（愛称：V-Sheets）は、一般的なパーソナルコンピュータで動作する表計算シート（MS-EXCEL）上の専用テンプレート（ひな形）である。
- 2 “V-Sheets”は、関係費目、試算の前提となる数値（出荷量、販売単価）を入力するシートと試算結果のシートで構成され（図1）、結果は自動的に表示される（図2）。
- 3 出荷量（可販収量）、農産物単価、技術係数などの数値は、シート上で自由に入れ替え可能なので（図3）、生産・販売条件の変化による収益性の動きをシミュレーションすることができる（従来印刷媒体による情報提供では困難）。
- 4 普及、行政における産地指導や施策立案に利用可能であり、開発された技術の経営評価作業等研究業務の合理化にも有益である。

[留意事項]

- 1 “V-Sheets”は、野菜産地での利用を主に想定して作成したが、米、花きなどの耕種部門全般に適用可能である。ただし、永年性果樹については樹体の育成価評価を行い、減価償却費と同等の扱いをする必要がある。
- 2 線形計画法などにより経営モデルを策定する場合は、時期別（月別・旬別等）労働時間に関するデータが別途必要である。
- 3 当面は、経営規模、作目構成等の条件設定は、経営担当者がアドバイスをを行い、個別費目の入力を技術担当者が行う運用形態が現実的である。

[普及対象地域]

県下全域（特に、農協生産者部会）

[行政上の措置]

[普及状況]

1 シートは、使用説明書及び入力例のデータとともに、県農林振興センター（改良普及課）、県内農協などに配布済（※※2006年3月）。

2 千葉県農業総合研究センターの業務用サーバーに登録（2006年3月）。

（※※V-Sheetsのコピーは自由だが、県農林振興センターや農協を介さない利用者についてはサポート体制が整わないので、原則として対応は行わない。）

[成果の概要]



図1 シートの構成

試算結果

対象品目・作型	抑制トマト	主な指標	対象品目の総販売額	5,230,000 円
対象産地	北総地域	10a当たり販売額	1,220,000 円/10a	
想定する経営	標準的経営	10a当たり経営費合計	858,515 円/10a	
		10a当たり生産者粗手取額	806,136 円/10a	
		(原価：総経費を仮定)		
		10a当たり生産者純手取額	498,485 円/10a	

設定条件

販売単価	275 円/kg	生産物kg当たり生産者粗手取額	128.07 円/kg
10a当たり出荷量	4,800 kg/10a	生産物kg当たり生産者純手取額	97.19 円/kg
		経営費合計補償率(%)	184.7 %
		現金支出分補償率(%)	184.7 %

※「生産者手取額」は混合農業所得であり、家族労働費+自作地代+自己資本利子+利潤である。

経費費目別内訳

生産	共用	出	現金	10a当たりの費用 (円)	生産物kg当たりの費用 (円)	経営費合計に対する比率(%)
○	○	○	○	種苗費	28,745	5.00
○	○	○	○	肥料費	55,075	11.47
○	○	○	○	農業薬剤費	38,480	7.80
○	○	○	○	生産資材費	18,730	3.90
○	○	○	○	生産用光熱動力費	4,882	1.01
○	○	○	○	生産用資料料金	0	0.00
○	○	○	○	水利費	0	0.00
○	○	○	○	生産用小農具費	2,568	0.53
○	○	○	○	生産用機械費 (修繕目積金)	69,290	14.44
○	○	○	○	生産用施設費 (修繕目積金)	42,775	8.81
○	○	○	○	共用機械・施設費 (修繕目積金)	28,568	5.54
○	○	○	○	雇用労働費	47,250	9.84
○	○	○	○	出荷用車費	131	0.03
○	○	○	○	出荷用光熱動力費	3,844	0.80
○	○	○	○	出荷用機械・施設費 (修繕目積金)	0	0.00
○	○	○	○	出荷用資材費	814,400	86.60
○	○	○	○	従業員料金等	51,000	10.63
○	○	○	○	従事料金等	151,800	31.83
				<経営費合計>	858,515	100.00
				<うち生産部分>	258,505	30.10
				<うち共用部分>	78,838	9.18
				<うち出荷部分>	521,175	60.72
				<うち現金支出部分 (賞与金)>	714,895	83.30
				<うち償却・積立等相当部分>	138,650	16.20

図2 試算結果シートの表示画面例

収量・販売単価を想定してください。

対象品目・作型	冬キャベツ
対象産地	海西地域
想定する経営	標準的経営

10a当たり出荷単位数 (ケース) 470 ケース 出荷単位数当たり販売単価 ※出荷期間全体の平均単価 1,000 円/ケース

1 出荷単位 (ケース) 当たり重量 10 kg/ケース

10a当たり出荷量 (自動計算) 4,700 kg/10a 想定されるkg当たり単価 (自動計算) 100 円/kg

10a当たり販売額 (自動計算) 470,000 円/10a

図3 出荷量 (可販売量)、農産物単価の設定画面例

[発表及び関連文献]

栗原大二「農産物原価計算を支援する表計算シートの作成」千葉県農総研報 (投稿中)

[その他]

全農千葉県本部との共同開発